



令和6年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年5月15日

上場会社名 GreenBee株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3913 URL https://www.greenbee.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 定則
 コーポレートコントロ
 問合せ先責任者 (役職名) ール本部長 (氏名) 杉山 了 (TEL) 03-6262-8660
 兼 経営企画室長 (代表)
 四半期報告書提出予定日 令和6年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年12月期第1四半期の連結業績(令和6年1月1日~令和6年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年12月期第1四半期	224	0.5	17	646.1	23	484.4	27	—
5年12月期第1四半期	223	△8.5	2	△89.3	4	△85.4	△1	—

(注) 包括利益 6年12月期第1四半期 35百万円(—%) 5年12月期第1四半期 △1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年12月期第1四半期	12.01	—
5年12月期第1四半期	△0.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年12月期第1四半期	1,215	1,099	90.5
5年12月期	1,189	1,064	89.4

(参考) 自己資本 6年12月期第1四半期 1,099百万円 5年12月期 1,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
6年12月期	—	—	—	—	—
6年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年12月期の連結業績予想(令和6年1月1日~令和6年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	898	10.4	46	—	46	—	34	—	15.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社、除外 -社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	6年12月期1Q	2,348,521株	5年12月期	2,348,521株
② 期末自己株式数	6年12月期1Q	91,936株	5年12月期	91,936株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	6年12月期1Q	2,256,585株	5年12月期1Q	2,251,585株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、不安定な国際情勢等による原材料価格の高止まりや、世界的な金融引き締めに伴う景気不振リスク等、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。一方で、AI、IoT、ビッグデータなどを活用して既存システムからの脱却や、新たなビジネスモデルの創出（DX:デジタルトランスフォーメーション）、気候変動や環境破壊の抑制を目指す再生可能エネルギーの導入（GX:グリーントランスフォーメーション）が急速に進んでおり、関連市場は良好な状況が続いています。

このような状況下において、当社は、「テクノロジーで社会を豊かにする会社」から「テクノロジーで持続可能な未来を築く会社」に変革していくため、令和6年4月1日より商号を「株式会社sMedio」から「GreenBee株式会社」へ変更しました。新たな分野での収益を確保すべく「GXサービス事業」を開始し、これまでの事業領域の区分を見直し、「テクノロジーライセンス事業」、「DXサービス事業」、「GXサービス事業」を展開してまいります。

当社グループのソフトウェア関連事業の概要は、下表のようになっております。

関連事業	テクノロジーライセンス事業	DXサービス事業	GXサービス事業
事業内容	競争力の高い自社テクノロジーIPをライセンスする事業	AIとシステムで情報活用可能なサービスをワンストップで提供する事業	お客様の脱炭素化に向けた取り組みに貢献するサービスをワンストップで提供する事業
顧客	デジタル家電メーカー、パソコンメーカー等	通信事業者・建設会社等	再生可能エネルギーを導入する企業等
主要製品・サービス等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4K/8Kプレミアムコンテンツ再生 <ul style="list-style-type: none"> - Valution - TrueBD ・ 組込みブラウザ <ul style="list-style-type: none"> - tourbillon ・ デバイス間高速データ転送・バックアップ <ul style="list-style-type: none"> - sMedio Data Transfer ・ AIメイクアップアプリ <ul style="list-style-type: none"> - sMedio Beauty Camera 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウドデータバックアップサービス <ul style="list-style-type: none"> - sMedio Cloud Backup ・ 建設DXサービス <ul style="list-style-type: none"> - 切羽AI評価サービス - コンクリートAI評価サービス - 掘削サイクルAI解析サービス - 濁水処理AI解析サービス ・ モバイルアプリ脆弱性診断サービス <ul style="list-style-type: none"> - RiskFinder 	<ul style="list-style-type: none"> ・ EMS（エネルギーマネジメントシステム） ・ 太陽光蓄電池システム <ul style="list-style-type: none"> - スマートデータロガー - 蓄電池 - 太陽光発電モジュール - EV充電器

(注) 当第1四半期連結会計期間より、従来のパソコン・デジタル家電組込ソフトウェアおよびセキュリティ&プライバシーソフトウェアの一部をテクノロジーライセンス事業、従来の建設DXサービス、セキュリティ&プライバシーソフトウェアの一部およびIoTソリューションをDXサービス事業に名称を変更しております。

「テクノロジーライセンス事業」領域においては、当社グループ売上の基盤となるライセンス売上が堅調に推移しました。また、パソコンメーカー向けにパソコン、スマートフォン、タブレットを連携する新製品の開発および営業活動に注力いたしました。令和6年第4四半期から令和7年第1四半期の納入をめざしております。

「DXサービス事業」領域においては、クラウドデータバックアップサービス「sMedio Cloud Backup」が、令和6年3月末時点のサブスクリプション契約者数が40,000名に到達しました。年内のサブスクリプション契約者数は80,000名を目標としており好調に推移しております。建設DXサービスでは、アイサワ工業株式会社に「切羽AI評価サービス」を採用いただき、累積採用企業社数は13社、累積採用トンネル数は51本となりました。また清水建設株式会社と「4K鏡クラックAI検出システム（清水建設様名：みまもりマスク）」を共同開発し、自社サービスとしても提供を開始しました。

「GXサービス事業」領域においては、令和6年2月14日に当社発表の「経営戦略説明資料」の中で、新たな事業領域として蓄電システムおよび関連する再生エネルギー製品を販売していくことを発表いたしました。当社GXパートナーとなるCREATIVE5, Inc. 社のスマートデータロガー、Zhejiang Huafon ESS Technology Co., Ltd. 社の産業用蓄電池、台湾プラスチックジャパンニューエナジー社の家庭用蓄電池、ライセンエネルギー社の太陽光発電モジュールと当社の展開するEMSクラウドサービスを組み合わせることで開発、営業活動を推進してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高224百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益17百万円（前年同四半期比646.1%増）、経常利益23百万円（前年同四半期比484.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益27百万円（前年同四半期は1百万円の純損失）となりました。

（単位：百万円未満切捨て）

	前々第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上高	244	223	224	1
営業利益	22	2	17	15
経常利益	27	4	23	19
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純 損失（△）	18	△1	27	28

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、1,164百万円であり、前連結会計年度末と比べ19百万円増加しました。これは、現預金が64百万円増加した一方で、売掛金が24百万円、ライセンス費用に関わる原材料が12百万円減少したことなどによるものであります。

（単位：百万円未満切捨て）

	前々連結会計年 度末	前連結会計年度末	当第1四半期連結 会計期間末	増減
現金及び預金	889	781	845	64
売掛金	181	215	191	△24
仕掛品	12	1	0	△1
原材料及び貯蔵品	235	116	103	△12

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、50百万円であり、前連結会計年度末と比べ5百万円増加しました。これは、繰延税金資産が6百万円増加したことなどによるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、104百万円であり、前連結会計年度末と比べ10百万円減少しました。これは、未払法人税等が10百万円減少、前受収益が9百万円減少した一方で、賞与引当金が5百万円、その他の流動負債が7百万円増加したことなどによるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、11百万円であり、前連結会計年度末と比べほぼ変動はありません。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,099百万円であり、前連結会計年度末と比べ35百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益27百万円を計上したことに加えて、主に為替相場が円安になったことで、為替換算調整勘定が7百万円増加したことによるものなどであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和6年2月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	781,347	845,403
売掛金	215,927	191,693
商品	10,920	-
仕掛品	1,953	302
原材料及び貯蔵品	116,396	103,591
その他	18,283	23,697
流動資産合計	1,144,828	1,164,688
固定資産		
有形固定資産	13,069	12,725
無形固定資産		
ソフトウェア	1,623	1,256
その他	1,635	1,569
無形固定資産合計	3,258	2,825
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,811	10,183
敷金及び保証金	16,675	16,761
その他	8,012	8,012
投資その他の資産合計	28,499	34,957
固定資産合計	44,828	50,508
資産合計	1,189,656	1,215,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,050	19,504
未払法人税等	12,831	1,943
前受収益	14,248	4,369
賞与引当金	2,489	8,392
その他	61,927	69,789
流動負債合計	114,546	104,000
固定負債		
資産除去債務	5,455	5,524
繰延税金負債	5,521	5,839
固定負債合計	10,977	11,364
負債合計	125,523	115,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,331,461	1,331,461
利益剰余金	△139,956	△112,897
自己株式	△166,943	△166,943
株主資本合計	1,034,562	1,061,620
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△727	78
為替換算調整勘定	30,298	38,132
その他の包括利益累計額合計	29,570	38,211
純資産合計	1,064,132	1,099,831
負債純資産合計	1,189,656	1,215,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)
売上高	223,399	224,523
売上原価	106,715	97,605
売上総利益	116,683	126,918
販売費及び一般管理費	114,326	109,330
営業利益	2,357	17,587
営業外収益		
受取利息	42	48
助成金収入	134	136
為替差益	1,488	5,736
その他	-	5
営業外収益合計	1,666	5,927
経常利益	4,023	23,514
特別損失		
固定資産除却損	170	-
特別損失合計	170	-
税金等調整前四半期純利益	3,853	23,514
法人税等	5,321	△3,589
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,468	27,104
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,468	27,104

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,468	27,104
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△1,539	806
為替換算調整勘定	1,539	7,833
その他の包括利益合計	△0	8,640
四半期包括利益	△1,468	35,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,468	35,745

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間
(自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは単一セグメントであります。事業といたしましては、テクノロジーライセンス事業、DXサービス事業、GXサービス事業の3事業から構成されており、顧客との契約から生じる収益を分解した情報にしましては、事業別で開示しております。

各事業の概要は、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」を参照ください。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)
顧客との契約から生じる収益	223,399	224,523
テクノロジーライセンス事業	186,684	168,095
DXサービス事業	36,714	37,365
GXサービス事業	—	19,063
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	223,399	224,523

(注) 当第1四半期連結会計期間より、従来のパソコン・デジタル家電組込ソフトウェアおよびセキュリティ&プライバシーソフトウェアの一部をテクノロジーライセンス事業、従来の建設DXサービス、セキュリティ&プライバシーソフトウェアの一部およびIoTソリューションをDXサービス事業に名称を変更しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の処分)

令和6年3月28日開催の取締役会において、株式報酬制度に基づき、当社の取締役が当社の普通株式を付与するための自己株式処分を決議し、下記のとおり、自己株式の処分を行う予定です。

- | | |
|-------------------|-------------------------------------|
| (1) 処分した株式の種類及び総数 | 当社普通株式5,500株 |
| (2) 処分価額 | 1株につき714円 |
| (3) 処分総額 | 3,927,000円 |
| (4) 処分先 | 当社取締役2名 |
| (5) 処分日 | 令和6年5月17日 |
| (6) 処分に伴う処分差損益 | 第2四半期連結会計期間において、6,061千円の自己株式処分差損が発生 |